

哲

学

教授 田 辺 正 英

◆ 研究概要

- 1) 人間における実存と安らぎの問題
- 2) 日本仏教における親鸞や蓮如の思想を通しての罪や悪と救済の問題
- 3) キリスト教における罪と救済の問題
(K. パルトや R. ニーバー等の思想を通して)
- 4) 西田哲学や田辺哲学の絶対無の問題

以上の4項目は第4輯(研究活動一覧1980)に述べたことと大体同じであるが、4つの項目の最近の研究内容をレジュメの形式で述べると次のごとくである。

懺悔道と親鸞の思想

田辺元博士の晩年の宗教哲学的色彩の強い『懺悔道としての哲学』は、田辺博士の思索と体験の新しい展開を示す哲学ならぬ哲学である。その核心は親鸞的な他力信仰を宗教哲学的に主体的に促えた上で懺悔(道)を絶対媒介として弁証法的に展開された行信証の哲学である。田辺博士においては、他力に催起させられた懺悔なくしては廻心は到来しないことを強調され、不断に懺悔を行ずることが他力への絶対転換への契機であるとする。これに対して親鸞においては廻心は如来(仏)より廻向される名号大悲の廻向によってはじめて成立してくる。この点は信仰としての親鸞の思想と哲学としての田辺博士の懺悔道との相違点であることを解明するものである。

◆ 原 著

- 1) 田辺正英：哲学における往相と還相について、富山医科薬科大学一般教育研究紀要 第3号 P. 1-7, 1981.

◆ 学会報告

- 1) 田辺正英：懺悔道と浄土真宗、日本宗教学会学術大会(第40回)1981. 10月10日 筑波大学。

歴

史

学

助 教 授 小 沢 浩

◆ 研究概要

前回までと同様であるが、今年度は特に置県百年を前に刊行が急がれている『富山県史』通史編近代下巻の担当分野に関する史料蒐集と整理・解説に集中した。

法

学

助 教 授 阿 原 稔

◆ 研究概要

昨年に引き続き、(イ)「医療保障」論と(ロ)「医事法(制)」について、研究を行っている。前者は、社会保障法における医療保障の理念と体系を考察するものである。また、後者は、独自の法領域としての「医療法(制)」の体系化を意図するものである。

心

理

学

助 教 授 中 瀬 惇

◆ 研究概要

これ迄の継続で「新版K式発達検査」の標準化作業の整備と、解説書発行の準備が中心であるが、検査の対象年齢を0～12才に拡大した為、現在もDataを一部、追加収集中である。

◆ 論 文

①嶋津峯真、生沢雅夫、松下 裕、中瀬 惇：新版K式発達検査の標準化(その一：K式から新版K式への歩み、その二：再標準化の手順、その三：検査項目、その四：通過率)日本心理学会第45回大会発表論文集1981. P.419-422. 日本女子大。

数

学

教 授 須 藤 修 作
助 教 授 白 井 進

◆ 研究概要

白井 進：「研究活動一覧」第一輯に記載したように有理数体上のクラス2拡大における分解法則の研究に取り組んできたが、ここへ来てやっと光が見え始めた様である。すなわち円分体上の Galois 群の exponent が2であるようなクラス2拡大に対しては、そこにおける分解法則を cyclotomy を経由することにより完全に有理的に決定した(原著1))。この「クラス2拡大における分解法則が cyclotomy に関係する」というのは代数的整数論における新しい認識である。今後の問題は如何なる(新)概念によって exponent 2 という条件が除去出来るかということであるが、かなりの困難が予想される。

◆ 原 著

- 1) 白井 進：ある種のクラス2拡大における素イ